

会議名	令和4年度 第1回 大和市青少年問題協議会
開催日時	令和4年6月28日(火) 午後1時30分から午後2時30分
開催場所	大和市生涯学習センター601 講習室
出席者	大木会長、柿本副会長、古谷田委員、前田委員、鴫田委員、久津間委員、溝口委員、川島委員、丸田委員、黒田委員、森委員、大山委員、細井委員、師岡委員、小川委員、森園委員、岩崎委員、山本委員 以上18名
欠席者	石井委員、柴高委員 以上2名
幹事	樋田(竜) 子ども部長、前田教育部長、樋田(久) 健康福祉部長、高井指導室長、山崎大和警察署生活安全第一課少年係長 以上5名
事務局	子ども・青少年課長、青少年相談室主任指導主事、子ども・青少年活動推進係1名、子ども・青少年育成係3名 以上6名
担当課	子ども部 子ども・青少年課 子ども・青少年育成係 Tel.046-260-5224
傍聴者	0名
公開の状況	公開
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 副会長の選任 5. 議題 (1) 令和4年度の主な青少年育成事業について (2) 第50回大和市青少年健全育成大会について (3) 青少年問題に関する現状報告について (4) 青少年育成に関する各団体の取り組みについて (5) その他 6. 閉会
内容	<p>質疑応答等 (○…委員 ●…事務局等)</p> <p>(1) 令和4年度の主な青少年育成事業について (資料1-1、資料1-2、資料1-3)</p> <p>●《子ども・青少年課》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1について説明。主な内容については、以下のとおり。 ・青少年健全育成都市宣言事業では、青少年問題協議会を年2回開催、街頭キャンペーン、健全育成大会を11月26日(土)に開催予定。 ・青少年キャンプ施設管理運営事業では、青少年が野外での活動を通して自然と親しみ、親子のふれあいを深めるために、年間をとおして、泉の森ふれあいキャンプ場を開設している。なお、同キャンプ場については、令和4年5月末まで、新型コロナウイルス感染症対策の観点から休場としていたが、6月1日(水)より再開。 ・やまと成人式開催事業では、今年度の実施予定として、令和5年1月9日(月祝)を予定。なお今年度より、民法のうえでは、成人年齢が18歳に引き下げたところだが、県内他市などと同様、引き続き、20歳の方々を対象に実施予定。 ・親子ふれあい推進事業では、「親子ナイトウォークラリー」を7月16日(土)に開催。こちらは、目印や記号が書かれた地図を手に、コース途中で設けられたいくつかのクイズを解き進みながら、隠されたゴールを目指すという内容で、毎年好評の事業。事業を委託する青少年指導員連絡協議会をはじめとして、関連の各団体には今年度も協力をお願いしたい。 ・青少年指導者育成支援事業では、「青少年指導員連絡協議会」、「子ども会連絡協議会」、

「母親クラブ連絡協議会」の運営に対して補助金を交付しており、この3つの団体については、それぞれの団体が連携を図りながら、大和市における青少年育成事業に対して様々な協力をいただいている。

- ・大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業では、市内の9つの中学校区の団体と、それとは異なる3団体の運営に対して補助金を交付している。

これらの団体は、青少年の非行防止やパトロールを始め、あいさつ運動や中学生と地域の方々との清掃活動などを通じて、中学生が地域との関わりの中で健全育成が図れるような事業を展開している。

- ・こども体験事業では、小学5、6年生及び中学生が、東日本大震災の被災地である陸前高田市を訪れ、被災された方々の話を聞き、復興の様子などを自分たちの眼で見て、感じるなど様々な経験を積む事業となっている。宿泊の事前と事後に研修も行い、11月に開催する健全育成大会で活動発表を行う。

●《青少年相談室》

- ・資料1-2、1-3について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・青少年一人ひとりを尊重し、その可能性に焦点を当てて、青少年の健全育成支援に取り組んでいる。
- ・相談の柱は「子どもを主体とした相談」「学校問題を生活問題として捉える」「子どもの未来の可能性を切り開く」の3つで、環境との相互作用の中で、何が起きているのかを見極め、地域社会との関わりを通して課題の解決を図っている。
- ・事業体系は、相談活動、教育支援教室の運営、小学校への教育相談員の派遣、不登校児童生徒支援員の配置、非行防止活動、広報・啓発活動があり、今年4月に不登校特例校分教室を開室。
- ・福祉専門のスクールソーシャルワーカー3名と心理カウンセラー3名がペアを組み、小学校に派遣している10名の教育相談員や中学校のスクールカウンセラーと連携して相談活動、支援にあたっている。
- ・街頭補導事業では、警察のOBである専門街頭指導員2名を中心として、青少年相談員と、駅や公園等を巡回している。学校と連携し、情報を共有しながら非行防止だけでなく、子どもたちが犯罪に巻き込まれないようにしている。
- ・不登校児童生徒援助事業では、不登校の児童に対して学校と連携し、不登校の原因を見極め、早期対応に努めている。

(2) 第50回青少年健全育成大会について（資料2-1、2-2、2-3、2-4）

●《こども・青少年課》

- ・資料2-1について説明。主な内容については、以下のとおり。
内閣府では、毎年11月を子ども・若者育成支援強調月間と定めており、本市においても、啓発事業を実施している。「青少年健全育成大会」もその一環として開催しているもので、今回で50回目の開催となる。
- ・主催は、大和市青少年問題協議会、大和市、大和市教育委員会であり、後援については、委員の推薦母体である各団体となる。
- ・開催日時は令和4年11月26日(土)午後を予定。会場は文化創造拠点シリウスのメインホールを予定。
- ・表彰については、青少年善行ほう賞、青少年育成活動推進者表彰、青少年健全育成作文集「明るくたくましく」掲載者とする。
- ・なお、青少年善行ほう賞と青少年活動推進者表彰については、各関係団体に推薦依頼

を行ったうえで、推薦書のとりまとめ後、8月下旬に実施予定の表彰選考委員会にて審査を行う。

- ・これらの表彰後、作文集掲載者の代表者に作文の朗読を行ってもらう予定。
- ・また、作文の朗読後、東日本大震災の被災地を訪問する、こども体験事業参加者による活動発表を行う。
- ・なお、今回の大会は50回と節目の大会となることから、記念誌を作成し来場者に配布する等の企画を事務局にて検討していく予定。

(3) 青少年問題に関する現状報告について（資料3-1、3-2）

●《青少年相談室》

- ・資料3-1について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・令和3年度に受理した相談件数は644件。
- ・相談内容は「性格・行動上の問題」が一番多い。
- ・「性格・行動上の問題」とは、発達障害などの診断は受けていないが、コミュニケーションの苦手さや発達の課題を持つ子の相談。
- ・「不登校」については、早期の対応が必要であり、学校と連携を図りながら、速やかに課題を整理し、本人の気持ちに即した支援を行う。
- ・対象少年の学校・職業別状況は、「小学生60.7%」、「中学生31.2%」でその他、高校生や大学生の相談も受けている。
- ・令和3年度の街頭補導件数は242件で、前年度より88件増加した。
- ・行為別状況は「暴走行為等交通違反」による補導件数224件で、88.9%と最も多くを占めている。
- ・「飲酒・喫煙」による補導件数が前年度の6件から10件と4件増加した。
- ・「遊技場出入」による補導件数が前年度同様0件となっている。

○《大和警察署》

- ・資料3-2について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・令和4年4月末時点での大和警察署管内の刑法犯認知件数は436件であり、前年に比べ16件減少した。
- ・詐欺が42件で、その中で振り込め詐欺が31件。昨今、手軽に金銭を得られるため、受け子が問題となっていたが、SNS等でリスクが周知され減少傾向にある。
- ・ひったくりが近年0件となっていたが、4月に10件発生した。
- ・大和警察署管内の少年非行の検挙状況は、凶悪犯が1件、粗暴犯が2名、窃盗犯が4人となっている。
- ・補導状況は、176人（前年比11人減少）で、迷惑行為も減少傾向にある。
- ・少年の非行状況と補導状況は年々減少している。
- ・子どもや女子校生に対する声かけや痴漢が多発している。SOSを発信している場面を見かけたら、地域住民の方々も助けてほしい。

(4) 青少年育成に関する各団体の取り組みについて

○《黒田委員（青少年指導員連絡協議会）》

- ・親子ナイトウォークラリーを実施する。規模を大幅に縮小し、表彰式、飲食提供は行わないなど、新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで開催する。4キロコースが30組募集のところ、現時点で78組が応募。
- ・新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで外遊びイベントを各地区で開催する。

○《森園委員（母親クラブ連絡協議会）》

- ・ 母親クラブ創立 50 周年として標語の募集を行った。2 日で 70 名の募集があった。
 - ・ 標語は母親クラブやまとに掲載しているので、見てほしい。
 - ・ 母親クラブ「お米っこ」ブロックについて、母親同士の交流の場、特に年齢差のある母親の交流の場として非常に有益である。
 - ・ 安心して暮らしていける地域にしていくためには、母親同士のつながりや地域のつながりが大切と痛感している。母親クラブを通じて、母親たちの縦のつながりを地域に残したい。
- 《小川委員（大和市子ども会連絡協議会）》
- ・ 子ども会は、地域のふれあいや遊びを通じて子供たちの心を育む場。
 - ・ コロナ禍で活動ができなくなり、解散してしまった子ども会もあった。
 - ・ 子どもたちの笑顔のために、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、前を向いていきたい。
- (5) その他
- 《森委員（青少年相談員連絡協議会）》
- ・ 高座渋谷のフードコートに子どもが夜溜まっている。悪さをしているわけではないが、子どもの家庭における居場所が影響しているのではないか。
 - ・ 万引きについて市内店舗でも多々発生していると聞く。
 - ・ 子どもの犯罪等について何か見かけることがあったら声掛けをお願いしたい。
- 《こども・青少年課》
- ・ 資料「その他」について説明。令和 4 年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰候補者の推薦について、例年、事務局のこども・青少年課において、事務対応を行った後、協議会会長の決裁を受け、県へ報告している。例年同様に事務を進める。
 - ・ 第 2 回協議会については、9 月下旬開催予定。